子育てママの支援室 in USA

～ガンバ！アメリカでこどもを育てるママたち！～

当コーナーのアドバイザー

（左から順に）
八巻 希 先生　小池 ふみ 先生
《聖マタイルーテル日本語幼稚園》
田所 洋子 先生 《わくわく広場》

こども達　失敗した時の心のサポート

こども達は遊びます。よく動き、小さな怪我もいっぱいします。転んだ時、何事もなかったようにすぐに立ち上がり、また駆け回る子ども達もいれば、痛みはそんなにひどくなくても我慢できずに涙してしまう子ども達もいます。

子ども達が涙するとき、膝に彼らを乗せて強く抱きしめてあげます。すりむいてしまった膝の痛みを取ることはできないけれど『大丈夫？痛かったね……』子ども達の人柄や成長によってかけてあげる言葉は違います。こども達に優しく温かい言葉をかけてあげることで心にバンソウコウを貼ってあげるのです。膝の上で彼らはゆっくりと落ち着きを取り戻し、また遊びに戻っていきます。

子ども達は毎日いろんなことに挑戦し、沢山の失敗を繰り返します。こども達が転んでしまったとき、『だから言ったでしょ。走っちゃだめだって……』心配だからついつい言いたくなってしまいます。しかし子ども達が失敗して涙しているときに必要な言葉は、大人から注意される言葉ではなく、彼らを安心させてあげる言葉と心の支えが大切なのです。彼らは涙しながら自分の失敗に気づいて自ら学んでいるのです。

『大丈夫？大変だったね』と優しい言葉をかけてもらうだけで、心強くなるのです。幼児期の子ども達もその優しさを必要としているのです。『君を想う人がいるよ』そのことが分かるだけで安心して前に進むことができるのです。

大丈夫、君は強いから。大丈夫、君だからできる。泣きじゃくっていた子ども達も安心できる人の膝の上で、勇気づけられます。彼らが涙しているとき、彼らの肩をしっかりと抱いて静かに応援してあげて下さい。子ども達の力を信じて彼らの成長に寄り添いながら大きくなる子ども達を見守っていきたいですね。

大きく育て！こども達！　元気に育て！こども達！